

高校演劇 県大会で2位、3位

馬橋、専松が関東大会へ

先月26日、28日、第63回千葉県高等学校演劇研究中央発表会が、県教育会館ホールで開催され、県立松戸馬橋高校が2位、専修大学松戸高校が3位に入り、ともに関東大会(馬橋は1月9日と10日、八王子いちようホール、専松は1月15日と16日、彩の国さいたま劇場)に出場する。1位は八千代松陰高校。馬橋は3年連続、専松は2年連続の出場となる。

誰もが覚えのある母の姿を、妖怪の姿を借りて、ダイナミックに表している。

土田教諭は「今回の劇、山姥は『生命継承の話だね』とある人に

県立松戸馬橋高校 「山姥」で2度目の全国へ

松戸馬橋高校が関東 った。

大会に出場するのは、今年取り組んだのはここ6年間で5回目。顧問の土田峰人教諭。2年前は「赤鬼」(野田秀樹・作)で県、関東で優勝。全国大会(四日市市)でも準優勝し、国立劇場の舞台にも立

から見守るという話。隠れた母の力によって子どもはすくすくと育つが、やがて傲慢になり、17歳の時には村を壊滅させる洪水を引き起こしてしまう。母は息子に裏切られ、それでも母は子どもを捨てていって、命を託している。

専修大学松戸高校

創作台本で全国制覇を

専修大学松戸高校の演目は「みんなでロミオとジュリエット」(浅田太郎と専松の愉快なひとたち・作)。とある町にある富丘高校と聖キャピュレット高校。この両校の演劇部は大会をめぐって



県立松戸馬橋高校が上演する「山姥」の一場面



関東大会に出場する県立松戸馬橋高校演劇部